

株主のみなさまへ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による世界的な混乱は終息し、パンデミック以前の日常生活が戻ってまいりました。しかしながら、ウクライナとロシアによる争いは2年を超過した今もなお継続し、当社が本拠を構える米国においては物価の上昇が止まる所を知りません。そのような中におきましても、当社メディシノバでは着実に歩みを進めてきた、そんな2023年度であったと思います。

MN-166（イブジラスト）におきましては、アルコール依存症と難治性の脳腫瘍グリオブラストーマを対象とした2つの臨床治験で患者登録を完了しました。また、米国の政府系機関BARDAと共同で進めてきた塩素ガス暴露による急性肺障害に対する医学的対策としての開発プロジェクトでは、MN-166投与による肺傷害の軽減や生存率の向上など、良好な結果を得ることができました。このプロジェクトは現在、FDAとの今後の協議に向けた準備を進めているところです。カナダ政府の資金援助により実施される新型コロナウイルス感染症後遺症を対象とした臨床治験も2023年の2月に開始し、現在は患者登録が順調に進められております。

MN-001（タイペルカスト）におきましても、2022年の7月より開始した2型糖尿病及び高中性脂肪血症を伴うNAFLD患者を対象とした臨床治験が開始から1年を経過し、患者登録が順調に進んでおります。また、脂質代謝メカニズムに関する順天堂大学との共同研究も一定の成果が出てまいりました。これらの成果は、今年の5月に開催予定の動脈硬化学会において発表する予定です。

上記のほかにも、2024年度はALSを対象としたフェーズ2/3臨床治験の中間解析も予定しております。身が引き締まる思いです。やるべきことをやり切り、株主・投資家の皆様に、当社メディシノバを応援してくださる方々に、良いお知らせができるよう引き続き尽力してまいります。変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いできれば幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年5月吉日

メディシノバ・インク  
代表取締役社長兼CEO  
岩城 裕一